

Pseudomonas sp. 由来のクレアチナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0162

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 酵素学において、クレアチナーゼ(EC 3.5.3.3)は、次の化学反□を触媒する酵素です: クレ

アチン + H2O ↔ サルコシン + 尿素。したがって、この酵素の二つの基質はクレアチンと H2Oであり、二つの生成物はサルコシンと尿素です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに 属し、ペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するもので、特に線状アミジンにおいて働きます。クレアチナーゼは、クレアチンと水分子をサルコシンと尿素に□換する反□を加速しま

す。常にホモ二量体状態で作用し、塩化コリンによって誘導されます。

用途 クレアチンアミジノヒドロラ―ゼは、血液および尿中のクレアチニンの測定に使用される臨床

的に重要な酵素です。

別名 クレアチンアミジノヒドロラーゼ; クレアチナーゼ; **37340-58-2**; EC 3.5.3.3

製品情報

種 シュードモナス属

由来 大腸菌

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.5.3.3

*CAS*登□番号 37340-58-2

活性 10-20 ユニット/mg タンパク質

組成 タンパク質、約70% ビウレット

単位定義 1ユニットは、pH 7.5、37°Cで1分あたり 1.0μ モルのクレアチンを尿素とサルコシンに加水

分解します。

保管・発送情報

安定性 2-8℃